

《演奏会報告》

(令和2年度)

2020年度 演奏活動報告

大岡 訓子

「第11回 ピアノコンサート エクセレント」

2020年9月22日（祝） 13:30開演 電気文化会館

J. ハイドン ソナタ ヘ長調 Hob. XVI: 23

18世紀後半、クラヴィーア音楽はウィーンで急速に発展した。

1780年代のモーツァルトのソナタと共にウィーン古典派クラヴィーア様式の代表的な作品である。

ハイドンはチェンバロとクラヴィコードで学び、初期のクラヴィーア作品ではチェンバロを想定していたが、フリーゲルやエラールに代表されるフォルテピアノの楽器の発展により、音楽的な語法を変化させていった。1770年代後半にフォルテピアノの鍵盤楽器が発展し、強弱、アクセント、クレッシェンドとディミヌエンドの指示が書かれている。

演奏したソナタ ヘ長調 Hob. XVI: 23では音楽的な指示は書かれていない。

また、初期の作品はソナタではなくディベルティメントと記されている。フォルテピアノを想定して作曲された、ソナタの名称はハ短調ソナタ Hob. XVI: 20以降となっている。自筆譜は僅かしか残っておらず、ト長調のパーティータ Hob. XVI: 6などが存在する。

このソナタは1773年、作品21～26 エステルハージ候のための6つのソナタとして1774年に出版された。中期の作品。

第1楽章 優雅でユーモア溢れる楽曲。下降する付点リズムをモチーフにした第1主題。展開部では減七和音による展開が見られる。再現部では長いトリルによって華やかな進行が感じられる。2/4拍子、スタッカート、ノンレガート奏法により快活さを表現できる。

第2楽章 原典版にAdagioと書かれており、ロマン派を予期させる音楽で、即興的に演奏することができる。また6/8拍子がシチリアーノ的でもある。ヘ長調の同主調、ヘ短調で書かれており、ハ短調、変イ長調など、目まぐるしい転調により、更に即興的な演奏が望まれる。

冒頭のコルダは繰り返しの音によって装飾の変化をさせることもあり、装飾音は複数回

出てくる場合は意識的に異なったパッセージによるアプローチが可能である。再び現れる場合は、より華やかで豊かなパッセージになることが多い。

第3楽章 Finale Presto

アーティキュレーションの解釈により、多様な変化を表現できる。展開部に減七の和音によるドラマ性を持ち、2/4拍子で全体的には軽快なりズミックな作品である。

2020年度 演奏活動報告

後藤 龍伸

2020年初頭から新型コロナウイルスの感染に関する情報がメディア等でささやかれ始めたが、2月末になんとか2019年度の締めくくりとしての弦楽合奏の演奏会を開くことができた。

当時はまだ感染症対策も、何をなすべきか、何をすべきでないかがよくわからない状況であったが、なんとか無事に演奏会を開催することができた。

2020年2月28日 ホールdo

コレッリ：合奏協奏曲作品6-1ニ長調

ヴィヴァルディ：四つのヴァイオリンのための協奏曲ロ短調作品3-8

ロッシーニ：弦楽のためのソナタ第1番ト長調

エルガー：セレナーデ作品20

ホルスト：セント・ポール組曲

(アンコール) エルガー：ソスピーリ作品70

この演奏会はホールdoにて、前半は立奏して行われ、コレッリのファーストヴァイオリンとヴィヴァルディのヴィオラを自分が担当演奏した。

プログラムは、前半がイタリアのバロックから古典にかけての伝統的な合奏曲(ロッシーニの作品は作曲者若干12歳頃の作品)、後半はイギリス近代の有名な弦楽合奏の作品を取り上げた。

三月以降は、在学生のみで入学式でのオーケストラ演奏(ジョン・ウィリアムズのオリンピック・ファンファーレ、ジュラシック・パーク、およびモリコーネの「ガブリエルのオーボエ」)のリハーサルを開始する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

【自粛生活および緊急事態宣言下での授業展開】

2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大と共に、様々な演奏会や行事がキャンセルされたり変更されることになった。

まず予定されていた入学式におけるオーケストラ演奏が中止になり、新学期の対面レッスンを含む実技系の授業がほぼ開けなくなった。

当初は何度か学生と連絡を取り合い、いわゆるリモートでのレッスンを試みたが、音質が悪く時差もあり、実用的ではなかった。(最近では改善されたようだが)ましてや複数の楽器によるアンサンブルをオンラインで行うことなど、とうてい不可能な状況であった。

大学に来校しないと楽器の練習ができない学生も多くいたため、教職員一体となって早期の授業再開を実現すべく、我々は努力した。

対応はかなり遅れたものの、消毒液の導入や体温計の設置は、授業再開への大きな一歩であった。換気やソーシャルディスタンスに関する情報をふまえ、教室を変更したり配置を工夫したり、試行錯誤の日々が続いた。

当時いち早く演奏活動を再開したベルリンフィルの動画などを参考にして、相当奏者同士の間隔を幅広く取り、弦楽器と打楽器はマスク着用、弦の譜面台は一人一本に配置するなど、工夫をこらした。しかし、フェイスシールドやアクリル板を使用せずとも、ソーシャルディスタンスを保つての演奏は困難を極めた。

このような状態の中、なんとか九月に練習を積み重ねた末の弦楽合奏の演奏会を開くことができた。

2020年9月1日 成徳館12階ホール

ショスタコーヴィッチ：室内交響曲作品110a

この曲の原曲はショスタコーヴィッチの弦楽四重奏曲第8番ハ短調であり、旧ソ連の著名なヴァイオラ奏者であり指揮者であるルドルフ・バルシャイの編曲が有名だが、今回はそのバルシャイ版を参考にしながら、若干原曲に手を加えた形で演奏した。

「ファシズムと戦争の犠牲者の思い出に捧げる」という副題が作曲者によってつけられており、政治や歴史に関わるメッセジ性の強い作品と認識されてきたが、最近の研究では、共産党入党を迫られた作曲者の葛藤が描かれた、作り手の内面を吐露した作品とされている。

ドミトリー・ショスタコーヴィッチのイニシャルを音名化したレ・ミ b・ド・シ (d・es・c・h) の音型に始まり、全編を通して異様な緊急感を強いられる特異な作品である。

演奏しながら、理不尽な要求に翻弄される教員や学生達の姿を重ね合わせてみた。

2020年9月27日 成徳館12階ホール 「サマーコンサート」

スッペ：「軽騎兵」序曲

ワーグナー：「ローエングリン」第1幕への前奏曲

ベートーヴェン：レオノーレ序曲第3番

ベルリオーズ：ローマの謝肉祭作品9

ルーセル：「バッカスとアリアーヌ」第2組曲

(アンコール) ヒメネス：「ルイス・アロンソの結婚」間奏曲

ワーグナーを演奏中に地震が発生し、少々演奏者が動揺したものの、無事に演奏会を終えることができた。学生を含め自分にとっても久しぶりの観客を入れての演奏会だったので、良い緊急感の中で演奏できたと思う。

曲目は、ベートーヴェンを除き(レオノーレ序曲はハ長調)明るい長調のものに統一し、前半はドイツ・オーストリア系、後半はフランスもの(アンコールはスペインの有名なサルセラのナンバー)でそろえ、コロナ禍の中で懸命に練習を重ねた日々の努力の成果を発表することができた。

2020年10月30日 めいおんホール 「めいおん音楽祭フェスティバルオーケストラ」

ワーグナー：ジークフリート牧歌

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第11番へ短調作品95「セリオソ」

モーツァルト：交響曲第41番ハ長調K551「ジュピター」

(アンコール) シベリウス：「クオレマ」より悲しきワルツ

ヨハン・シュトラウス：トリッチ・トラッチ・ポルカ

春期はかなり遅れて授業が再開され、まずソーシャルディスタンスを意識して編成の小さいものから練習を始めた。

フェスティバルオーケストラでは、サマーコンサートを計画した段階で並行して練習をしてきたものと、それ以前に取り上げていた曲を演奏した。

ジークフリート牧歌はもともと13人の奏者を想定して書かれた、作曲者の妻への誕生日プレゼント曲であるが、しばしばオーケストラで演奏される名曲である。

感染症拡大で三密を避ける必要性がさらに高まれば、編成を縮小して発表することも想定していたが、めいおんホールにて十分なソーシャルディスタンスを確保して、全員で演奏することができた。

ベートーヴェンは、マーラーによる弦楽合奏版の編曲を参考にしながら、独自の判断でパート譜に手を加えて演奏した。

後半はティンパニが入った比較的編成の少ない曲、古典派モーツァルトのシンフォニー、そしてアンコールとしてシベリウスの小品(故・松下雅人先生を偲んで)と打楽器を増やして明るいポルカを演奏して演奏会を締めくくった。

2020年12月16日 愛知県芸術劇場コンサートホール 「オーケストラ定期演奏会」

ショスタコーヴィッチ：交響曲第9番変ホ長調作品70

ペスキン：トランペット協奏曲第1番

ボロディン：中央アジアの高原にて

エネスコ：ルーマニア狂詩曲第1番

リムスキー＝コルサコフ：スペイン奇想曲

チャイコフスキー：イタリア奇想曲

(アンコール) グリエール：「赤いケシ」より水兵の踊り

オーケストラ定期演奏会は、同時期に行われていた名古屋フィルの感染症対策を参考に、十分なソーシャルディスタンスを意識した配置を工夫しながら実施された。

日本ではなかなか演奏される機会の少ないペスキンの協奏曲を選曲してくださった上田仁先生に敬意を表し、この演奏会はすべてロシア（旧ソ連含む）の作品（エネスコのみルーマニア）を取り上げた。

前半はペスキンに合わせたフラット3個のシンフォニー、後半はサマーコンサートの曲目と並行して譜読みをしていたイ長調の作品ばかりで、大いにホールの響きを味わいながら演奏することができた。

2020年度 演奏活動報告

佐藤 恵子

2020年12月4日（金） 18:00開場 18:30開演 ザ・コンサートホール（電気文化会館）

愛知ロシア音楽研究会第11回演奏会「グリнкаとその周辺」

〈ソロ〉

オペラ「ルスランとリュドミラ」より 2つのフラグメント

1、妖精の踊り

2、黒魔術師・チェルノモールの戦いと死 M.グリнка (S.リャポウノフ編)

「子供のポルカ」

M.グリнка

2021年2月20日（土） 13:00開場 13:30開演 めいおんホール・名古屋音楽大学

めいおん室内楽コンサート

〈連弾〉

スラブ舞曲 op.46-1, 3

A.ドヴォルジャーク

愛知ロシア音楽研究会では作品紹介の意義から、プログラムが決定されます。グリнка自身がオペラ「ルスランとリュドミカ」より、ピアノ曲に「2つのフラグメント」と編曲している作品紹介をと計画しました。しかし音源はあっても楽譜が無く、音源は無く楽譜のある同名曲目のリャポウノフ編曲の作品を演奏しました。グリнка編曲の作品より技巧的な作品で、F.リストがロシアに演奏旅行に行き、ピアノの真価は技巧にあると理解したロシア人の思いを実感する機会となりました。逆にグリнка作曲の「子供のポルカ」はシンプルな作品でした。

めいおん室内楽コンサートの教員演奏として、中川朋子教授との連弾は、2人の身体は触れ合い、心身ともに密な感覚で演奏する「連弾の楽しみ・喜び」の感じられる機会となりました。

2020年度 研究活動報告

清水 皇樹

昨年度に引き続き、ピアノ指導法に力を入れて研究している。

演奏も奥深い世界で研究に終わりが無いが、この指導法においてもどこまでも終わりが無いと研究すればするほど痛感している。

今回も研究成果の発表の場として12月6日に、三井住友海上しらかわホールで門下生ピアノ演奏会として開催させていただいた。

本学の学生はもちろん、小学5年生の生徒から幅広い年齢層の指導対象で研究し、総勢40名のステージとなった。

特に今年度はコロナ禍の中とあって開催も危ぶまれたが、ホール側の好意、学生達の情熱に助けられ無事演奏会を終えることが出来た。

どの分野でも同じだと思うが、このピアノ指導法はとにかく時間をかけなければ本当の意味での研究成果はなかなか分らない。

例えば、長い付き合いのある生徒として10年以上継続的に指導している者も数人いる。

一年ごとの成長の達成度ももちろん大事であるが、5年後、10年後私の指導によってどのように成長してきたかはより重みがある。

痛感することは、指導する側も常に深く勉強し続けることが大切ということだ。

特にテクニック面では、常に世界のトップレベルのテクニック状況は進化し続けている。

最先端の技術を知らなければ、時代遅れの弾き方ということになる。

もちろんクラシック音楽なので普遍的に変わらない、変わってはいけない伝統というものも存在する。流派と呼ばれるものは受け継がなければならない。

その一方で変化、進歩を続けるより良いテクニック、表現の傾向というものも存在する。

今年度は特に、その両輪をしっかり踏まえて指導することがとても大切と感じた。

今年の8月ドイツで、青少年のためのエトリンゲン国際ピアノコンクールが開かれ、私の生徒も参加することになり、世界のトップレベルの中で私の指導法がどうであるか考察することができた。

コロナ禍ということもあり、録画で全世界に配信され全参加者の演奏を日本でも視聴することが可能になって素晴らしい経験となった。

そのトップレベルとの差のまざまざと見せつけられ、またこのレベルの中でも通用する部分も感じられ大変勉強になった。

やはり、クラシック音楽の精神、作曲家の様式感はヨーロッパの参加者には敵わない！と思った。こればかりは本場ヨーロッパの空気を吸い、実際に生活してみなければわからない感覚である。

幸運なことに本学はザルツブルクのモーツアルテウム音楽大学、ドイツのエッセン音楽大学と提携を結んでおり、実際に現地で学んでいる本学学生もいる。

これは本当に有難いことで、やはり重要なことであると考える。

この様式感是我々東洋人にとって、大きな壁であるが最近ではその東洋人からもヨーロッパ人と変わらない立派な様式感を踏まえて演奏する素晴らしいピアニストが出てきているのも事実だ。

それは指導できる教師が存在するということである。

私は今年度、エトリンゲン国際コンクールを通してテクニック面はもちろん、様式感の指導の大切さを感じ、今年後半それを意識して指導してみた。

特に、古典派の演奏にその研究成果が少し感じられたと思う。

来年度も引き続き継続して研究を深めていきたいと考えている。

2020年度 演奏活動報告

高藤 摩紀

2020年度はコロナの影響で予定されていた全てのコンサートが延期、中止になった。
唯一演奏する機会があったのが、10月2日（土）日進市民会館において新しく所蔵された打楽器お披露目コンサートであった。

延期、中止になった演奏会は以下の通りです。

- 4月1日（水） 東本願寺 音楽法要（東本願寺） 中止
- 4月25日（土） ジェゴッグコンサート（羽島市民会館） 中止
- 5月26日（木） 「ウィンドアンサンブルGAJA Vol.5 for Natalie」 延期
（愛知県芸術劇場コンサートホール）
- 8月30日（日） 日本マリンバ協会岐阜支部50周年記念演奏会 ゲスト出演
（サラマンカホール）
- 9月5日（土） International Marimba Festival Concert 延期
（長久手市文化の家 森のホール）
- 9月19日（土） リリオ x MEION コンサート（リリオコンサートホール） 中止
- 10月9日（金） 名倉誠人マリンバリサイタル ゲスト出演 延期
Carlos Sanchez-Gutierrez 氏の新作の世界初演（宗次ホール）

インドネシアバリ島におけるガムランジェゴグの成り立ち、西洋音楽への影響とジェゴグの発展について研究中。

2020年度 演奏・研究活動報告

露木 薫

演奏活動報告

2020年2月23(日) 吹打吹奏楽団(仮) 3rd. Concert (防府市地域交流センターアスピラート音楽ホール) にゲスト出演し Sparke:Pantomime と You raise me up を共演。

2020年2月24日(月) Meion British Brass 第1回定期演奏会(中村文化小劇場)にて演奏会の指揮と Sparke:Pantomime を共演。

研究活動報告

昨年に引き続き、マウスピースの研究を行った。

- ① Griego BB1—BT アメリカの著名なユーフォニウム奏者 Brian Bowman 氏(元アメリカ海軍・空軍バンドユーフォニウム奏者、元ノーステキサス大学教授)の考案によるモデルの復刻版
- ② Josef Klier M.S.1-L
- ③ Josef Klier M.S.2-L
- ④ Josef Klier M.S.1-ML Brain Bowman 氏の薫陶を受けた斎藤充氏による Griego BB1-BT の改良モデル
- ⑤ Alliance WEAP51-3a イギリスの著名なユーフォニウム奏者 Steven Mead 氏の考案によるモデル

Griego と Josef Klier はその原型となった Silke (アメリカ製) 51D のリム内径 (25.55mm) を基に設計されており、リム内径のバリエーションがない点が残念であるが、音質における芯の強さが特徴的である。ユーフォニウムはその柔らかな音質が特徴であるが、音の輪郭が不明瞭である点がソロ、合奏の中での欠点にもつながっていた。アメリカ海軍・空軍バンドの中で永年にわたり活躍してきた Brain Bowman 氏が試行錯誤を重ねて辿り着いた、豊かな音質と芯の強さの融合を Griego のマウスピースに感じる事が出来る。しかし Griego はリムのエッジ角度が鋭く、唇に過度の負荷が掛かる点が懸念材料。Josef Klier は、その点が改良されており、唇への負荷が軽減されていて、長時間の演奏にも絶えうるリム設計となっているようだ。しかし、音の芯の強さに関して若干の低下も感じられる。その違いがリム等の形状によるものなのか、アメリカ製 Griego とドイツ製 Josef Klier の材質(真鍮)の違いによるものなのか、判断は難しい。リム内径については今後何種類かのバリエーションが出てくる事が期待される。

GriegoとJosef KlierがBrain Bowman氏と斎藤充氏の使用楽器Willson社（スイス製）の楽器を使用して設計されているのに対し、AllianceはSteven Mead氏の使用楽器Besson社（イギリス製）の伝統的なユーフォニアムを使用して設計されている。温かく広がり豊かなAllianceの音色感は、長い歴史を持つDenis Wick（イギリス製）のマウスピースのコンセプトの延長上にソリストとしてのSteven Mead氏自身のアイデアが盛り込まれた進化を感じる事が出来る。音の芯よりも響きの豊かさと音の艶やかさを追求しているようだ。Griegoのマウスピースがアメリカ最高峰のバンドで活躍してきたBrain Bowman氏の目指す音質を具現化し、Allianceのマウスピースがイギリスのブラスバンドの世界からソリストとして活躍してきたSteven Mead氏のニーズに応えるマウスピース作りから生まれたと言えるが、両者のマウスピースの特徴の違いは、楽器（製造メーカー）との相性にも大きな関係があるようだ。実際にWillsonの楽器をAllianceのマウスピースで演奏してみると柔らかい豊かさのある音が得られるが、Willson独特の音の濃厚さは失われるように感じるし、Bessonの楽器をGriegoのマウスピースで演奏してみると音の瑞々しさが失われ、芯の強さが強調されるように感じる。学生のマウスピースの選択においても、BessonにはAlliance系のマウスピース、WillsonにはGriego系のマウスピースが良くマッチしているようである。今後はGriego社あるいはJosef Klier社に協力を求め、リム内径の25.55mmよりも大きなサイズのマウスピースでの検証を行っていきたい。

2020年度 研究活動報告

中川 朋子

2020年の初頭、新型コロナウイルス流行のニュースを耳にした時、今日までの長期にわたるパンデミックに陥るとは想像もしていなかった。

2月には国内の感染者も確認され、様々な制約がなされるようになった。

教育の分野では3月に全校一斉休校の措置、4月には緊急事態宣言が発出された為、早急に対策を講じる必要に迫られた。

ピアノ実技指導の場合、個人レッスンや、授業も学生との対面でのやり取りの中で進めて行く為、オンラインでの実施は難しいと予想された。

しかし、時間的に余裕のない中、急遽、必要な機器を購入しインターネット環境を先ずは整えた。ビデオ配信による授業実施方法の確認や学生との通信状況チェックを行い新学期に向けてオンライン対応の準備を完了させた。

1、オンライン授業報告：ピアノ演奏理論Ⅰ

この授業は、脱力を基本とした様々な奏法を段階的に学び、表現豊かな演奏が出来る事を目指すもので、主に学部2年次ピアノ専攻生を対象としている。レパートリーが拡がり、多様な表現も求められるこの時期に奏法を学ぶ事は有意義であり、文献は数多くあるが実践を通してこそ修得につながると考える。

今年度は、やむを得ずコロナ対策の為、授業回数15回のうち7回をオンライン授業とした。ビデオ作成に当たっては、カメラの向きを調整しながら解説し、自らの演奏を交えて収録した。より解り易いように手、腕の位置、話すスピードに配慮し、様々な例を挙げて響きの比較など自身の演奏を駆使して段階的に説明した。

毎回ビデオ視聴後、学生との双方向の時間を設け、質疑応答をTeamsのチャット投稿タブで実施した。

オンライン授業の概要

第1回目授業 5月13日 「シラバスの確認・腕の脱力について」

シラバスの確認

この授業で取り上げる様々な奏法は、私自身がモーツァルテウム音楽大学で、恩師ハンス・ライグラフ氏から学んだ「ライグラフメソッド」をベースに、奏法の応用までを学ぶ事を説明

〈腕の脱力について〉

序：身体を有効に使う為に椅子の高さ、足の位置、椅子の位置、姿勢についての説明

脱力の練習

脱力した腕の状態と重さを体感する為の練習

第1段階

- ①正しい姿勢で着席（前かがみでなく、頭頂部を糸で釣り上げられているイメージで背筋を伸ばす）椅子は標準の高さ
- ②肩、腕を緊張せず楽に
- ③左手で右腕の肘関節の辺りを下から掴み、支え持つ
- ④右腕は重みを左手に完全に預ける事が重要
- ⑤次に左手も同様の手順で練習する

第2段階

- ①正しい姿勢を保ちながら、第一段階で支え持っている手を放す
- ②放される腕は、意識的に自分で止めず自然に任せて落ちる
- ③腕が放され落ちる時、胸幅が広がる感じがして、腕の脱力を実感出来れば成功

脱力して単音を出す

- ①音を出す指を予め決めるが指は構えない
初めは2か3の指が適当
- ②支え持った手を放し、脱力した腕が落ちる（前述の第2段階）
- ③腕が鍵盤に落ちる寸前に決めていた指で音を出す
- ④打鍵の瞬間は、指は丸く腕の重みを支えられる状態で
- ⑤打鍵後、押し込まない
- ⑥脱力してタイミング良く音が出た場合は、腕のストーンとした感覚と共に、余韻のある響きを得られる

第2回目授業 5月20日 「腕の脱力について・続き」

脱力して和音を弾く

- ①単音を出す手順を応用し、色々な組み合わせの音程で練習する
- ②オクターヴは手が硬くなりがち。前もって構えず、音を出す瞬間に指が所定の音の位置にある事
- ③響きを良く聴き、感覚を確かめながら練習する

支え持つ手を借りずに腕の脱力の練習

- ①支え持つ手を放す際に腕の重みを肩甲骨に渡し支える

②腕を下ろす時は、肩甲骨の支えをほどくように

③片手の手助けがあった時と同じ感覚、響きかを比較しながら練習する

腕の重みの使い方

重みのかけ具合を調節する事で音量の段階をつける

①音量を増やす：腕を準備する高さを高くして行く

②腕の落ちる勢いも増す事で更に音量が増す

③音量を減らす：腕を準備する高さを低くして行く

④脱力によって弱音でも豊かな響きが得られるようにする

重みの移動

連続して腕の重みを使うには

①最初の音が出た瞬間に脱力し、次に弾く指に重みがかかる位置に腕を素早く移動させる

②アルペジオ：全ての音に均等に重みがかかるように脱力と腕の移動を同時に

③オクターヴのトレモロ：弾いている指に重みを乗せる

F. ショパン24の前奏曲より op.28より第20番

これまでの練習を活かし応用。自身の演奏を交えての解説

脱力とスムーズな腕の移動によって停滞のない響きが得られる

強弱のコントロール、1つの和音においてもバランスを良く聴いて重みの調節が必要

第3回目授業 5月27日 「復習と補足・指だけと肘からの奏法」

前回までの復習と補足

①響きの行方を聴く

②腕の運び方と方向

③呼吸（歌う）：息継ぎのタイミングと適切な呼吸によって音楽的繋がりが出来る

〈指だけと肘からの奏法〉

指の重みだけを使う奏法

①腕の重みは全く使わない（椅子の高さに注意）

②自然に丸めた指を鍵盤に触れた所からゆっくり底へ押し下げる

③途中でカクンと鍵盤の抵抗を感じる所（エスケープメントレベル）をある程度の速度で通過する時に音は出る

④音が出た後、指の付け根をゆるめ、指を鍵盤に接触したまま、鍵盤が上がるに任せる

- ⑤鍵盤が上下する数ミリの感覚を知る事で、鍵盤を上下させる指先のコントロールが出来るようになる
- ⑥バッハ インヴェンション第1番を、この奏法だけで強弱もつける
(この奏法だけで実際に演奏する事はない。奏法の練習が目的)

指をアクティブに使う奏法

指を鍵盤から離してダイレクトに打鍵する

- ①弾いている指以外は脱力して下がった状態で弾く音
- ②弾いていない指を全て緊張させて上に上げて弾く (明るい音質、音色)
- ③①と②の違いを聴き比べる

次に弾く音の音量を考えて指の高さを準備し、打鍵のスピードもコントロール。

- ①dim.する時：指の高さをだんだん低く
- ②cresc.の時：指の高さをだんだん高く、打鍵の勢いも増す

肘からの奏法

肘から上の二の腕までの重みは使わない

- ①肘の位置を安定させ、肩叩きの要領で楽にバウンドさせる
- ②手首で曲げず、肘から指までの上下振り幅の調節で音量の増減が出来る

バッハ インヴェンション第8番

指の重みだけ、指をアクティブに、肘からの奏法を組合せて応用する

響きのプランを持って指を準備する

どのようなタッチがふさわしいか、音を良く聴きプラン通りの音が出せるように

第12回目授業 7月29日 「応用」

シューベルト 即興曲 D935 op.142

これまで学んだ奏法の応用と表現について
自身の演奏と解説

第13回目授業 8月5日 「応用」

主にベートーヴェンピアノソナタについて

春学期の試験曲を重点的に

質問に答え、奏法のポイントについて演奏を交えて概略解説

第14回授業 8月19日 「応用」

ベートーヴェンソナタ op.2-1 全楽章

これまでに学んだ奏法の応用と表現について自身の演奏を交えて解説

第15回目授業 9月16日 「まとめ」

ブラームス4つの小品 op.119

これまでに学んだ奏法を応用し表現する
自身の演奏と解説

ビデオ視聴後の質疑応答は活発に行われ、各自、熱心に取り組んでいる様子が見受けられた。

質問に関してはチャットで答えると同時に、後日、対面授業においても補足した。

対面授業では他の受講生の実践を見聴きする事で、自分の完成度や欠点に気づき練習の励みにもなるので、より効果的に学習が進められる。

疑問点も、その都度に質問する事で解決し易く、やはり対面授業は不可欠である。

しかし、奏法の習得はかなりの集中と時間を必要とする為、何度でも繰り返し視聴、確認出来るビデオ配信のオンライン授業にも利点があると考えられる。今回の収録ではカメラの向きに注力し、特に腕や指先の細部などに焦点を当てた事によって、更にビデオならではの視覚的効果を得られたと実感している。

15回の授業全体を通して、曲のイメージを持つ事の大切さ、表現手段としての脱力奏法、様々なタッチ、響きを良く聴く事の必要性などを伝えてきた。

今後、この授業が、受講生の演奏や指導に大いに活用される事を願っている。

2、ピアノ実技レッスン

春学期の個人ピアノレッスンは、全てオンラインで開始した。

その後は、感染状況や学生の希望に沿いながら、対面かオンラインかの選択となった。

オンラインは各学生とFace Time、Skype、Zoom、Teams、LINE等で対応した。

レッスンを順次、滞りなく進められるかと懸念はあったが、対応はすぐに慣れスムーズに行う事が出来た。

オンラインでは途中で切れる通信トラブルや、状況によっては音色の微妙な変化を聴き分ける事が難しい。しかし、画面上の手や身体の動き等から響きや音色を想像しつつ指導に当たった。対面の際よりもペダルの使用箇所や曲のイメージについて等、言葉でのコミュニケーションを重視するように努めた。

試行錯誤の結果ピアノ実技レッスンに関しては、オンラインは飽くまでも苦肉の策であり、対面によるレッスンが必要不可欠であると痛感した。

3、コンクール審査

例年、審査を務めている山形県ジュニアピアノコンクールは中止となった。

多くのコンクールが中止となり、私が審査の依頼を受けていた中では、第22回ショパ

ン国際ピアノコンクールin ASIA 地区大会と、第11回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan 地区予選がビデオ審査により開催された。

審査の手順に不安もあったが緊張感を持って審査に臨み、無事に評定、講評の入力を完了した。

困難な中、開催されたコンクール関係者のご尽力に感謝し、応募者の皆様には努力の成果を活かし、今後も益々成長される事を期待している。

外出の制限、感染対策の強化など、コンサート開催も中々厳しい状況にあり、12月に開催予定していた私のリサイタルも2021年12月22日に延期した。

今日、まだ新型コロナウイルスの終息は見えない。

今後も音楽教育の質を担保し、更には、進化した音楽教育の構築につなぐ為の創意工夫を重ねて取り組む必要がある。

2020年度 研究活動報告

橋本 眞介

今年度はコロナ禍の中、演奏会やコンクール等が軒並み中止となりステイホーム中の世界中の演奏家はインターネット上に自らが演奏する動画や音源などを自宅から配信（宅録）することとなる。私もその一人でソロ、ピアノや弦楽器とのデュオ、そして力を入れたのが多重録音である。最近では携帯端末でも一人で多重録音することが容易にでき便利であるが、いい音質で録るには上質マイクとパソコンとマイクを繋げるオーディオインターフェイスが必要になり大学研究費で購入し本格的なハードディスクレコーディングを始めた。

2月には吹奏楽の分野で活躍中の作曲家の酒井格氏が「春のエチュード」という無伴奏ソロの曲をインターネット上に無償で提供した楽曲を録音した。

酒井格「春のエチュード」 <https://youtu.be/j4tLh-Q9PKc>

3月にはベラ・コバーチのJ.S.Bachへのオマージュという無伴奏ソロ曲を録音し配信した。

ベラ・コバーチ「J.S. Bachへのオマージュ」 https://youtu.be/t3f21J5x_Ls

この時期（2020年3月中旬）あたりからコロナが終息すると思われクラリネットアンサンブルでYoutube無観客ライブ配信を行う。しかしながら全国的に感染者が増え宅録が世界的に増え始め、同時に携帯アプリで作成できる多重録音もブームとなり、私も研究用に多重録音と分身動画（同じ画面に複数自分が映る）を録る。

Aladdin: Friend Like Me コントラバスクラリネット7重奏 <https://youtu.be/xELzcz3CWMQ>

コントラバスクラリネットでの7重奏は世界的にも珍しく、多くの方々に鑑賞していただき1.5万回視聴があった。

4月には映画「ライオンキング」よりサークルオブライフをバスクラリネット7重奏で行い、この多重録音は大学のウェブオープンキャンパスの宣伝動画でも使われた。

名古屋音楽大学ウェブオープンキャンパス <https://youtu.be/YuTNTu0E6AI>

12月下旬、コロナも終息するかと思われたが第3波がやってきて、予定していた橋本眞介ソロリサイタルも延期することとなるが、共演者のピアノの中根浩晶氏と録画を配信する。

ピアソラ：「タンゴの歴史」より Bordel1900 <https://youtu.be/Zk8-pEmr9XM>

モンティ：チャールダシュⅡ <https://youtu.be/yHSZqGNTxjc>

2021年1月にはコントラバスの友人とデュオを2曲録音し配信した。

ブレイク：メモリーズオブユー <https://youtu.be/ngoV3zUqN8g>

グールド：ベニーズギグ <https://youtu.be/96YRjtepcf>

引き続きYoutubeには随時配信をしていく予定にしている。

演奏報告

2020年9月6日 東海市芸術劇場大ホール 名古屋フィルハーモニー交響楽団

東海市芸術劇場5周年記念コンサート「オペラガラコンサート」

オペラの曲を中心にソリスト、合唱団を入れてのコンサートに参加。客席はディスタンスを取りソリストや合唱団は感染対策の為、歌手用のマスクをしての演奏であった。

久しぶりの生オーケストラコンサートに聴衆も大いに盛り上がった。

2020年9月13日 東広島芸術文化ホール CrazyClassix 東広島公演

会館主催公演、当初は1公演であったが感染対策を考え、3公演行う。

10年続けてきたアンサンブルグループのCrazyClassixはクラシックを身近に感じてもらうと常に演奏の中にもユーモアや実験を加え新しい民族音楽を紹介している。

今回は多くの東広島市民に多くのジャンルの曲を楽しんでいただいた。

2020年10月9日 和歌山メディア・アート・ホール きのくに音楽祭公演

プログラムは木管六重奏曲 F. プーランク作曲、きらきら星の主題による12の変奏曲 W.A. モーツァルト作曲、マーク A. ポプキン編曲、ピアノと管楽のための五重奏曲 作品16変ホ長調 L.v. ベートーヴェン作曲 他。

日本のプロオーケストラ奏者で組んだ木管五重奏の演奏会。和歌山県で毎年開催される「きのくに音楽祭」のオープニングコンサートを演奏した。

2021年1月31日 幸田町民会館さくらホール 中部フィルハーモニー交響楽団

プログラムはメンデルスゾーン：序曲「静かな海と楽しい航海」、メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲、ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」。指揮：粟辻聡、ヴァイオリン：郷古廉、中部フィルハーモニー交響楽団。

あいちオーケストラフェスティバルと称し愛知県のプロオーケストラが愛知の各地で演奏会が催された。感染対策の為に半分にしたが、指定分の客席は満員で中部フィルの生の迫力あるサウンドに会場は大いに盛り上がった。この模様は中部フィルYoutubeにて配信中である。

2020年度 研究活動報告

森 雅史

- 1月8日（水） ニューイヤーコンサート2020 ウィーンシェーンブルン宮殿オーケストラ
指揮：ヴィニシウス・カタール 共演：林美智子（メゾ・ソプラノ）
オペレッタのアリアや重唱によるコンサート
会場：富山県オーバードホール
- 1月12日（日） 五島記念文化賞 オペラ新人賞研修記念リサイタル【岩渕慶子 コレペ
ティトゥアの世界】 プログラム監修
- 2月16日（日） 全国共同制作オペラ【椿姫】観劇 会場：金沢歌劇座
- 4月10日～15日 オペラ【セヴィリアの理髪師の結婚】バジリオ役
会場：東京スタジオアマデウス 演出：田尾下哲
※コロナウィルスの為中止
- 8月12日配信開始 東京都アートにエールを参加企画 オペラ『セヴィリアの理髪師』より
バジリオ役 演出：家田淳
- 9月 藤倉大作曲 オペラ【ソラリス】ギバリアン役
オーケストラ：アンサンブル・ノマド 会場：東京藝術劇場
※コロナウィルスの為中止
- 9月 東京サラダ音楽祭 動画配信プロジェクト
【大きなかぶ】出演 再生回数2万回を超える。
- 11月3日、4日 オペラ【セヴィリアの理髪師の結婚】リーディング&コンサート公演
Bキャスト、Cキャストにてバジリオ役で出演 動画を有料配信
演出：田尾下哲

11月22日（日） オペラティック…オーケストラ・コンサート
千住明作曲オペラ【滝の白糸】南京出刃打役、渡部俊幸作曲オペラ【禪】
乃木大将役で出演。オーケストラアンサンブル金沢 指揮：垣内悠希
演出：三浦安浩
進行：辰巳琢郎 ※Youtubeにて動画配信も行われている。

【総括】

2020年度はコロナウイルス流行の影響から、予定されていたオペラの舞台やコンサートが中止や動画配信問う形に変わるなど、舞台での演奏業績という観点からすると物足りない内容になってしまったことは否めない。しかしながら、録音作業や動画配信に携わることで、新しい次世代の表現の提供方法に触れる機会を得られた事は大きな収穫だったと言える。

また、コロナ自粛期間中には多くの学術書、研究所に触れる時間も得られたため新しい研究題材や課題を得る事も出来た。Zoomといったアプリケーションを用いた異業種やクラシック音楽以外のミュージシャンとの交流も積極的に行い、新たなプロジェクトの実現に漕ぎつけるなど、コロナ下でしか得られない経験も多く出来た。

コロナ下ということもあり、科研費に関する研究は滞ってしまったが、Spレコード研究科である梅田英喜氏との会談をはじめ、戦前・戦後で大きく移り変わる歌唱スタイルに関しての考察を深めることもできた。

演奏会として特筆することは、渡部俊幸氏作曲によるオペラ【禪】のプレコンサートに出演したが、22年1月と2月に金沢と高崎で上演される本公演に出演する運びとなっている。

また、コロナ下でのリモートレッスンの限界と可能性を感じたことから、リモートを用いたレッスンや演奏の共有を題材にした研究で科研費の申請を行った。